第３号様式（第６条関係）

令和８年　９月　10 日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（SDGs 応援事業補助）

（宛先）
戸田市長

団体名　Pink Ribbon × Hula

代表者職・氏名　山口まく

所在地　[redacted]

事業名	Pink Ribbon × Hula ～フラダンスで創る、健康と共生のまちづくり～	
SDGs の該当ゴール	・ 目標 3：すべての人に健康と福祉を ・ 目標 5：ジェンダー平等を実現しよう ・ 目標 17：パートナーシップで目標を達成しよう	
確定前交付の希望	☑ 希望する	□ 希望しない
連絡担当者	氏名	[redacted]
	住所	[redacted]
	電話	[redacted]
	Fax	[redacted]
	E-mail	[redacted]
ホームページ	なし	
設立年月日	2025 年　4 月　1 日　設立	
会員数	7 人	
年会費	0 円／1 年間	
団体の目的	がんになっても治療を続けながら、生活と仕事を継続し、生き生きと暮らす人がいることを発信し、がんとの共生社会について考える契機を作ります。特に女性特有のがんである乳がんの早期発見や早期治療を促す「ピンクリボン運動」と、市内で多くの方が親しんでいる「フラダンス」を融合させ、イベントを通して市民のがん予防と治療に対する意識を高めることを目的としています。	

主な活動実績	令和7年（2025年）4月の団体設立以降、主に10月の「ピンクリボン運動月間」に向けた啓発イベントの企画・立案、および地域ネットワークの構築に注力してまいりました。具体的には、戸田市内で活動する複数のフラダンス団体や、男性フラダンスチーム、乳がん経験者による「キャンサーフラジャパン」との連携体制を整えていきました。団体としては新設ですが、参画する各メンバー・協力団体はこれまでも地域イベント等で精力的に活動しており、その豊富な運営ノウハウと人の繋がりを結集して本事業に臨んでいます。
これまでの補助金等の援助状況	なし
団体ＰＲなど	当団体は、「がん啓発（ピンクリボン）」と「フラダンス」を掛け合わせた、戸田市発の全く新しいソーシャルアクションを起こすために結集しました。 重く受け止められがちな「がん」というテーマを、フラダンスが持つ「癒やし」や「エンターテインメント性」で包み込むことで、これまで健康課題に関心が薄かった方々にも、自然な形で早期発見の大切さを届けることができると確信しています。また、女性の活動というイメージが強いフラダンスに男性チームを巻き込むことで、ジェンダーの枠を超えた多様性（SDGs）を体現します。「戸田市から発信する価値のある、市民を巻き込む素晴らしい取り組みだ」と賛同していただけるよう、メンバー一同、並々ならぬ熱意を持って準備を進めております。ぜひ、本事業の実現に向けたお力添えをお願い申し上げます。

≪事業企画書≫

1　事業の目的・必要性・課題

ＳＤＧｓの該当ゴール：

- **目標 3：すべての人に健康と福祉を**

  現状の課題： がんに関する正確な知識の不足や受診機会の少なさから、がんの早期発見・予防啓発が十分に行き届いていない。また、治療中および治療後のサバイバー（患者・経験者）に対する精神的・社会的ケアの場が限られている。

  事業実施による解決（成果）： 本事業を開催・展開することで、市民に向けたがん予防および早期発見に関する啓発（がん検診の受診促進等）を推進する。同時に、フラダンス等のイベントを通じてサバイバーが自分らしく参加・交流できる場を創出し、心身のケアや生活の質（QOL）向上につなげる。

- **目標 5：ジェンダー平等を実現しよう**

  現状の課題： 地域社会やカルチャー活動において「フラダンス＝女性のもの」という固定観念が根強く存在し、男性の参画や多様な性別による活動への心理的ハードルとなっている。

  事業実施による解決（成果）： 本事業に男性フラダンスチーム（カネフラ等）が積極的に参画・出演することで、「フラ＝女性」という既成概念を打破する。多様な主体の参画機会を創出し、ジェンダーにとらわれない地域社会の多様性と等しい表現の場づくりを推進する。

- **目標 17：パートナーシップで目標を達成しよう**

  協働の実態： 地域施設、市内フラ団体、医療・健康等の専門家との協働により、講座やイベントを一体的に企画・実施する。

  各主体への効果：

  市民： がん予防・ケアの学びや運動機会、多世代・多様なカルチャーとの交流機会を得ることで、健康意識の向上と地域コミュニティのつながりが深まる。

  団体（Pink Ribbon × Hula 等）： 専門家や市内団体との連携により活動の信頼性や発信力が向上し、継続的かつ広範な啓発・支援活動を展開できるようになる。

  戸田市（地域）： 行政・市民・団体が協働で地域の健康課題や多様性推進に取り組む成功モデルを構築でき、健康寿命の延伸や共生社会の実現に寄与する。

2　事業の具体的内容

1. **ステージパフォーマンスを通じた啓発活動**

日　　時：令和 8 年 10 月 11 日（日）

場　　所：上戸田地域交流センター　あいパル

対　　象：どなたでも

費　　用：無料

定　　員：無し

講　　師：嶋村弘一　戸田市内「kūlele shima」アトリエで創作活動

あいパルウクレレ講座講師

森村たかし　ハーラウ・ナー・カーネ・オ・イカイカ主宰

日本国内における男性フラカルチャーを牽引

実施体制：当団体会員 7 名、ボランティアスタッフ 30 名

周知方法：チラシの配架、SNS での周知

内容

・オープニングではフラダンスと同じくハワイアンカルチャーである「ウクレレ」演奏で盛り上げ、プロの演奏者も交えて会場を一体化させます。

・乳がん経験者の病を乗り越えた姿を通して生命の輝きと早期治療の大切さを地域に発信します。

・男女共同参画の視点から千葉県稲毛海岸を拠点に活動しているメンズフラ「ナ・カーネ・オ・イカイカ」を招致し、男性の参加協力を促進します。

・戸田市内のフラダンスチーム（ハーラウフラ オ ラウレア、ハーラウカヴァイハアクラマヌ、プカラニフラ ホメ、マナフラ）と強力に連携し、地域ぐるみのイベントを構築します。

2. **共生社会を考えるワークショップ・ブース展開**

・あいパルとの共催事業として、ピンクのリボンのブレスレット製作などのワークショップを開催し、体験を通じてピンクリボン運動への理解を深めます。

・「フリーマーケットコーナー」を設け、フラ愛好者や市民から寄付された衣装や小物を販売。得られた収入を本イベントへ還元します。

3　事業実施のスケジュール

月　日	内　　容
2 月	実行委員会の立ち上げと第一回会合
3 月	出演団体の募集、出店業者の募集
4 月	出演団体・出店業者の決定
6 月	プログラムの内容の検討、企画出し
8 月	参加団体の参加確認書提出
9 月	参加団体の曲目確認書提出
10 月 11 日	本イベント開催
10 月末	イベント報告及び反省会

4　事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

本事業を通じて、以下の具体的な動員目標の達成と、市民の意識・行動の変容を目指します。

【具体的な数値目標】

目標来場者数：500 人

フラダンス参加者数：市内外から 150 人を動員

協働・実施体制：当団体員 7 名、男性フラダンス団体員 10 名、女性フラダンス団体員 約 140 名、当日ボランティア 30 名（計 190 名以上の市民・関係者を巻き込んだ強固な実施体制を構築します）

【期待される成果（意識・行動・社会の変化）】

意識の変化：参加者ががんを「他人事」ではなく「自分事」として捉え、予防や早期発見への関心が高まること。

行動の変化：本イベントを契機とした、実際の健康診断・がん検診の受診行動への直結。

社会的な変化（SDGs の達成）：多世代および男性の積極的な参加により、「フラ＝女性の活動」という固定観念を超え、ジェンダー平等（目標 5）と健康・福祉（目標 3）を共に推進する社会的な土壌を戸田市に広げること。

〈収支予算書〉

【収入】

科　目		予 算 額	内　訳
補助金・助成金	当補助金	50,000	
	その他	0	
自己資金		44,000	
会費		0	
利用者負担金		25,420	出店料　¥1,000×10 店舗 ピンクのリボンのブレスレットのワークショップ売り上げ　¥10,000 ガレージセールによる収入　¥5,420
協賛金・寄付		0	
その他（　　）		0	
合　計		119,420	

【支出】

	科　目	予 算 額	内　訳	
補助対象経費	謝礼金	60,000	講師 2 名、演奏者 2 名、什器設営 1 名、音響 1 名 @10,000	
	交通費	27,320	￥1,366×2×10 名 ハーラウ・ナー・カーネ・オ・イカイカ (千葉市のフラダンスチーム) 稲毛海岸駅-戸田公園駅(片道￥1,366)	
	消耗品費	7,740	文具、装飾用木材等	
	食糧費	3,360	ゲスト、参加者への水分補給のお茶代 ￥70 × 2 箱（48 本）	
	委託費	11,000	SNS 等発信の委託	
小　計		109,420	内訳	補助金申請額：50,000
				自主財源：59,420
補助対象外経費	謝礼金	10,000	「戸田オール　オール de エール SUPER」 1,000 オール×40 名 関係団体、市内フラダンス団体、指導者、当日ボランティアに謝礼としてお渡し ※余りが生じた際には、戸田オール運営委員会に未使用のオールを返還	
小　計		10,000		
合　計		119,420		